

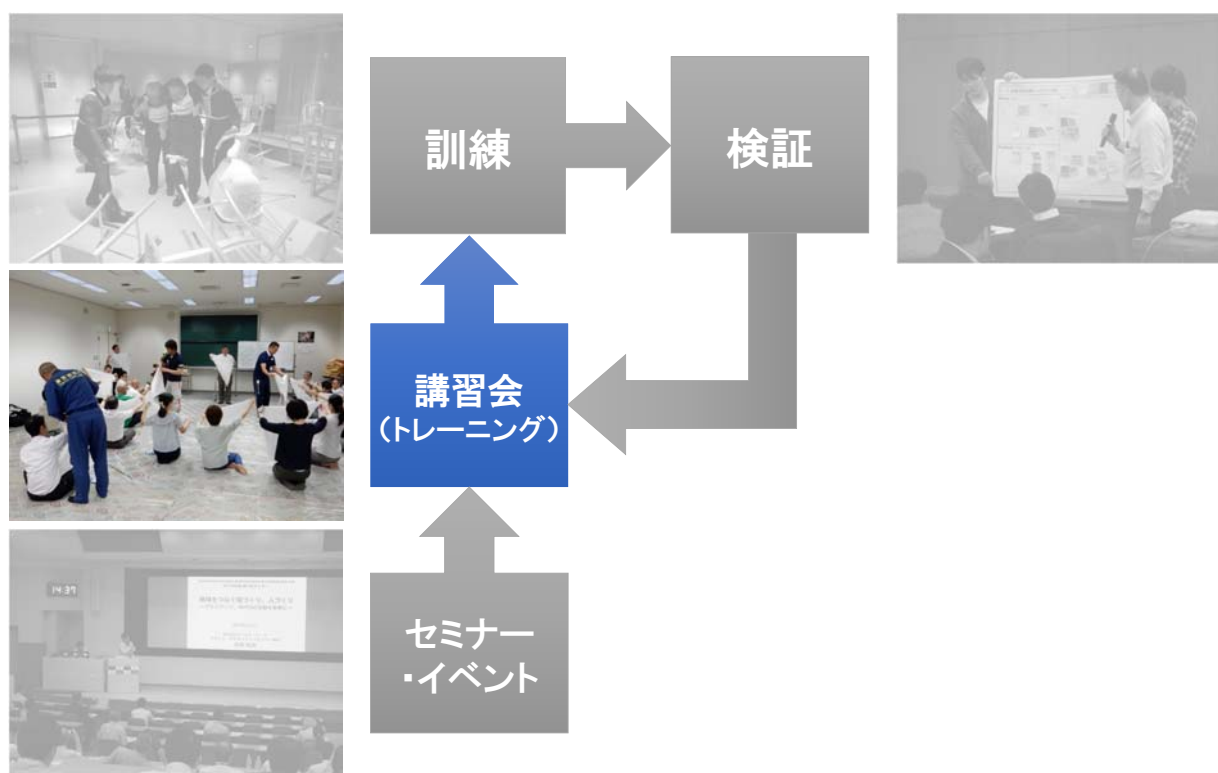
平成28年度 新宿駅周辺防災対策協議会

講習会実施報告

2017年3月21日

協議会事務局 鱒沢工学研究所
鱒沢 曜

研修プログラムの構成



平成28年度の研修プログラム

日付	項目	題目	目的	参加※
2016 6/17	第1回 セミナー	新宿駅周辺地域が一丸となって防災・まちづくりに取り組もう！！	先進的な協業事例に学ぶ／災害時に実践すべき行動について理解を深める	88
7/26	講習会	応急救護講習会	災害時の応急救護に必要な知識と技術の習得	21
8/30	第2回 セミナー	大規模災害発生時に何が起ころのか？	中心市街地における大規模災害時のライフライン、鉄道への影響と対策について学ぶ	47
9/16	講習会	自衛消防組織の震災対応活動講習会	大規模施設の地震災害時における自衛消防活動の一連の流れ、本部隊・地区隊の役割および活動要領を学ぶ	36
10/12	第3回 セミナー	新宿駅周辺にはどのような人々がいて災害時にはどのように誘導すればよいか？	新宿駅周辺地域の滞在者属性と地震時を想定した群衆移動のイメージを共有する／災害時における駅周辺の滞在者の誘導等の考え方を学ぶ	34
10/19	講習会	建物被害対応の実践トレーニング	地震災害時の初動対応における建物調査の一連の流れを体験し、建築専門家でなくても行える建物調査の仕方を理解する	24
10/26	講習会	現地本部運営シミュレーション訓練	現地本部の役割と運営手順をロールプレイング形式の図上訓練で学ぶ	15
11/10	訓練	新宿駅西口地域地震防災訓練	身につけた災害対応能力を活かし、事業所や地域で災害対応活動を総合的に実践できるようにする／「新宿ルール実践のための行動指針」を訓練に活用し検証を行う	144
11/10 ～19	イベント	新宿防災ウィーク	地震災害や防災対策への関心を高める	
11/25	第4回 セミナー	自組織の危機対応・事業継続対応力を客観的に知ろう！！	チェックリストを用いて各企業・団体の危機対応力・事業継続対応力を客観的に評価する	29
12/14	訓練 検証会	新宿駅西口地域地震防災訓練検証会	地震防災訓練の実施内容を振り返り、その成果と課題を検証する	27
2017 2/17	第5回 セミナー	最新の動向や他地域の事例を知り防災・まちづくりに取り組もう！！	災害対応における企業等の法的リスクおよび他地域も含めた防災・まちづくりへの取り組み事例について考える	71

※運営参加者を除く参加人数

平成28年度 講習会実施概要

■実施方針

- 自助と共助を主とした災害対応活動を実践するために必要な知識や技術を身につける →総合防災訓練の効果を高める
- 訓練内容や地域特性に応じて必要なテーマを選定して実施する →協議会訓練の事前研修として位置付ける

■主な対象

- 協議会会員事業所・団体等(特に訓練参加希望者)

■実施内容

- 訓練内容に対応する4つのテーマについて実施
→自衛消防活動、傷病者対応、建物被害対応、現地本部運営

■実施期間

- 7月～10月(協議会訓練前に実施)

■その他

- 全ての講習会で受講証を配布

「応急救護講習会」

主催 新宿駅周辺防災対策協議会、新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会
協力 東京消防庁新宿消防署、日本赤十字社東京都支部

日 時 2016年7月26日(火) 13:00~18:00
場 所 日本赤十字社東京都支部 4階 第1会議室
参 加 21名(東口部会員9名、西口部会員7名、その他5名)

■目的

大規模災害時における応急救護の原則、傷病者への接し方、応急手当、観察記録および搬送の方法など、災害時の応急救護に必要な知識と技術を習得する

■講師

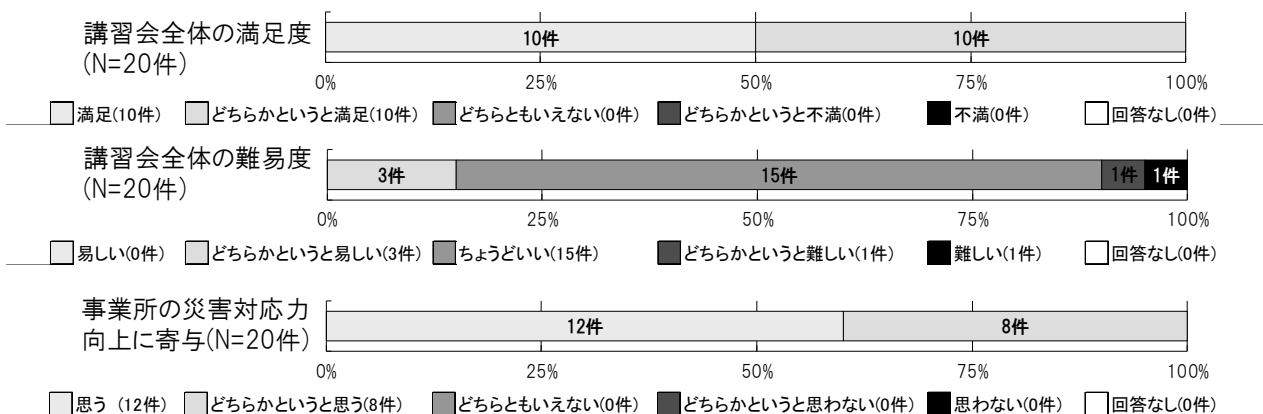
宮崎 明浩 氏 日本赤十字社東京都支部 事業部長/新宿駅周辺防災対策協議会 座長
安田 不二夫 氏 東京消防庁新宿消防署 救急技術担当係長

■プログラム

13:00 開会
13:10~14:00 座学講習(50分)
14:00~16:00 実技講習(120分)
16:00~17:30 総合演習(90分)
17:30~18:00 質疑、閉会



応急救護講習会アンケート調査結果(抜粋)



【良かった点】

- ・コンパクトな講習会でよかった
- ・座学と実技のバランス
- ・消防署との連携
- ・三角巾等の活用方法がわかりやすく現場で活かしていけると思った
- ・担架搬送や人を持ち上げて救出するという体験が出来て良かった
- ・総合演習は実技の内容を振り返ることが出来て、大変に良い経験になった
- ・参加者同士が顔見知りになれた

【改善点】

- ・17時までには終わると参加者が増えるのではないかと
- ・それぞれの時間をもう少し時間をかけてマスターしたかった
- ・識者クラス、活動者クラスと分けても良いと感じた
- ・AEDや胸骨圧迫なども普段やらないので取り入れて欲しい
- ・傷病者観察記録シートは意識のない人もいるので首から下げられる何かに入れられたら良いと思った

「自衛消防組織の震災対応活動講習会」

主催 新宿駅周辺防災対策協議会, 新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会

日 時 2016年9月16日(金) 13:30~16:30
場 所 工学院大学 新宿キャンパス 高層棟20階 第6会議室
参 加 36名(東口部会員13名、西口部会員20名、その他3名)

■目的

大規模施設の地震災害時における自衛消防活動の一連の流れ、本部隊・地区隊の役割りおよび具体的な活動要領を学ぶ

■講師

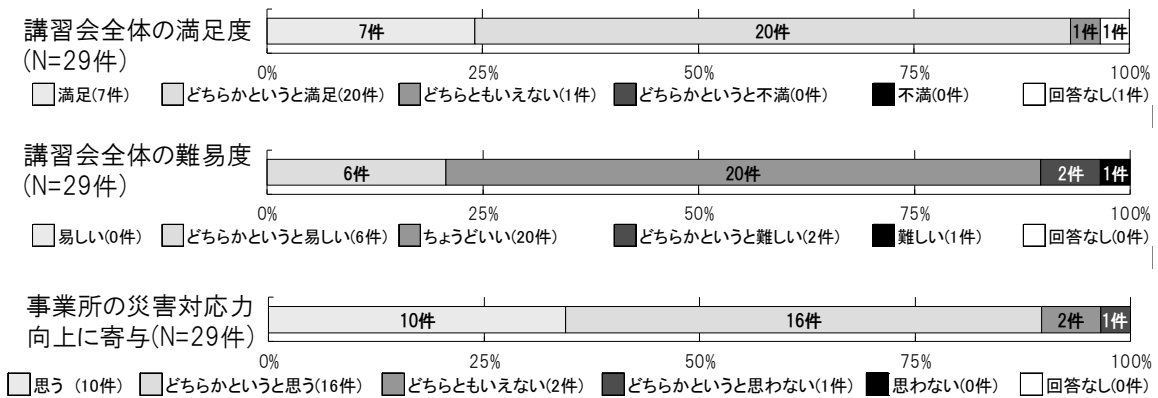
五十嵐 祐一 氏 東京消防庁新宿消防署 自衛消防担当係長 消防司令
上倉 秀之 氏 株式会社セノン 経営企画グループ統轄/取締役常務執行役員
鱒沢 曜 氏 鱒沢工学研究所 代表

■プログラム

13:30 開会
 13:35~14:20 座学講習(45分)
 14:30~15:15 実技講習(45分)
 15:25~16:10 図上演習(45分)
 16:10~16:25 振り返り、質疑
 16:30 閉会



自衛消防組織の震災対応活動講習会アンケート調査結果(抜粋)



【良かった点】

- ・基本事項からわかりやすく丁寧に説明していただいたので、今更聞いたり、確認したりできないようなことも改めて学ぶことができた
- ・東日本大震災時のデータを多数みることで
- ・初期消火・避難誘導時の声出しの仕方の確認
- ・実技による救助活動
- ・地区隊・本部隊と両方体験できたこと
- ・いろいろな問題(地震時)が浮かび上がってきたこと。火災、救急、救助...etc

【改善点】

- ・実技については社内の訓練で何回も経験している内容だった
- ・図上訓練時のトレーナーの付与の内容と手法を精査すべき
- ・図上演習をもう少し大きく区切って長い時間考えたい
- ・図上演習は全般を見学する班(見取り)も必要だと思った
- ・応急救護所の受け入れルールをしっかりと決めてほしい

「建物被害対応の実践トレーニング」

主催 新宿駅周辺防災対策協議会、新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会

日 時 2016年10月19日(水) 13:30~17:00
場 所 工学院大学 新宿キャンパス 高層棟3階 アーバンテックホール
参 加 24名(東口部会員5名、西口部会員17名、その他2名)

■目的

地震災害時の初動対応における建物調査の一連の流れを体験し、建築専門家でなくても行える建物調査の仕方を理解する

■講師

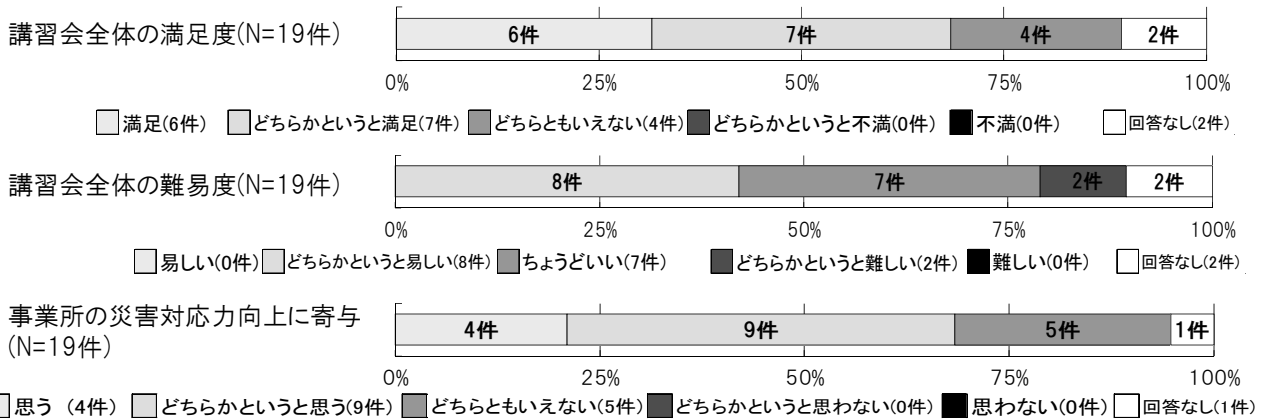
諏訪 仁 氏 株式会社大林組 技術研究所 構造技術研究部 主任研究員
武居 由紀子 氏 株式会社武設計 代表((一社)東京建築士会まちづくり委員会)
田中 聡 氏 常葉大学 社会環境学部 教授
鱒沢 曜 氏 鱒沢工学研究所 代表
水越 熏 氏 ミズコシ・アンド・アソシエイツ 代表
宮村 正光 氏 工学院大学客員研究員

■プログラム

13:30 開会
 13:35~14:05 解説(30分)
 14:15~16:15 建物被害確認調査・即時使用性判定演習(120分)
 16:25~16:55 振り返り(30分)
 17:00 閉会



建物被害対応の実践トレーニング アンケート調査結果(抜粋)



【良かった点】

- ・具体的でわかりやすかった
- ・すぐに事務所で導入できるメニューであった
- ・実際に写真を見ることで現場を想像できた
- ・iPad,チェックシート両方のやり方を学ぶことが出来たこと
- ・最新の対応策を学べた点
- ・チェックシート、iPadの操作性など昨年より良くなってきている
- ・被害部位の記号化と記入例により、短時間で報告が可能になると思った

【改善点】

- ・本部隊の説明を全体で一度行ってから各場所へ散らばるほうが全体の動きを把握しながら行えるのでいいと思った
- ・時間配分を、本部隊⇄地区隊+iPadの方が良いのでは？
- ・超高層以外のバージョンも作成していただきたい
- ・テナントへの周知トレーニングは難しい

「現地本部運営シミュレーション訓練」

主催 新宿駅周辺防災対策協議会、新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会

日 時 2016年10月26日(水) 14:00~17:00
場 所 工学院大学 新宿キャンパス 高層棟28階 第1・第2会議室
参 加 15名(東口部会員5名、西口部会員7名、その他3名)

■目的

西口現地本部を例に、「新宿ルール実践のための行動指針」に基づいた現地本部の運営をロールプレイング形式で疑似体験しながら、現地本部の役割や災害対応の流れ、災害・被害情報等の取り扱い方などを学ぶ

■講師

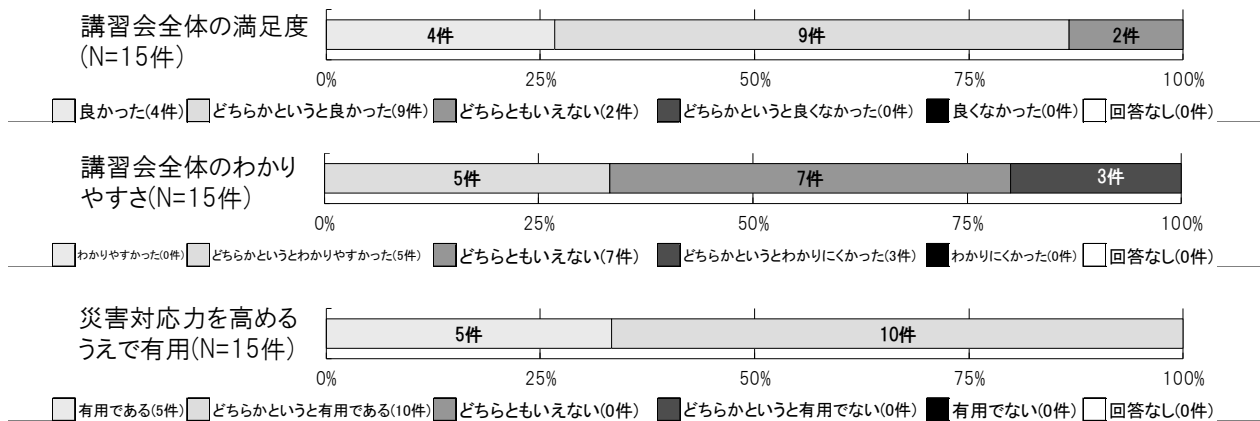
鈴木 光 氏 減災アトリエ主宰／総務省消防庁防災図上訓練指導員

■プログラム

14:00 開会
 14:00~14:30 訓練の進め方の説明等(30分)
 14:30~16:30 現地本部運営シミュレーション訓練(120分)
 16:30~17:00 振り返り、講評等(30分)
 17:00 閉会



現地本部運営シミュレーション訓練 アンケート調査結果(抜粋)



【訓練において「上手くできた」と思うこと】

- ・付与票を時間内に処理できた
- ・すべての付与票の処理を隊長を通してできた

【現地本部に提供してほしい情報】

- ・全体像が分かる情報(概況)
- ・滞留者に対する情報提供
- ・けが人の搬送や帰宅困難者の受け入れ状況、資機材の有無(どのくらい保有しているのか?)
- ・公共機関が発表しているもののみの方が、情報セキュリティ上、安全だと思う

【訓練において「上手くできなかった」と思うこと】

- ・一部手書き処理が大変(避難所開設情報)
- ・役割の分担が明確にならずに、各者が入る情報に対応してしまった
- ・数値を集計・把握すればよかった
- ・情報のトリアージ
- ・班内の役割分担があまり明確に意識できなかった
- ・手順書をほとんど確認できなかった

次年度に向けて

- 講習内容の検証、ブラッシュアップ
- IoTの活用
- 経験差(継続参加と初参加)に対応
- 訓練参加者の講習会参加率向上



http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssa_bousai/index.html



http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/urban-resilience_1/index.html